

能

NOH

体感講座

写真:能「安達原」より

伝統世云能、出

会云いの楽しみ

「挑戦！はじめての能」

「謡」「舞」「能面」「装束」「楽器」・・・能を構成するそれぞれの要素について、実際に体験していただくことにより能への理解を深めていただくための講座です。

◆開講日及び内容

①2月4日(土) 午後6時～午後7時30分

「能の謡と舞って面白い！」講師:山本章弘(観世流能楽師)

②2月5日(日) 午後2時～午後3時30分

「能面と装束を見てみよう！」講師:山本章弘

③2月25日(土) 午後2時～午後3時30分

「能に出てくる楽器をやってみよう！」講師:高橋奈王子(能楽師大倉流小鼓方) 森山泰幸(能楽師観世流大鼓方)

◆会場

茨木クリエイティブセンター2階・多目的ホール 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

◆対象・定員

各講座とも小学生以上、10人。1回だけの参加も可。

*講座①では、足袋または靴下をご持参ください。

◆受講料

1回500円

◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(午前9時～午後5時)

*12月8日(木)午前9時から電話予約開始。先着順に受付し、定員になり次第締め切ります。

*受講料は、開講日当日に会場受付でお支払いください。



【講師】山本章弘(やまもと・あきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本眞義に師事し、昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清河寿に師事。3歳にて初舞台。主な披曲は「石橋」「猩々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砧」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学及び大阪樟蔭女子大学能楽部講師。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ <http://www.noh-theater.com/>

茨木市文化振興財団第209回公演

【12月8日(木)予約開始】

いばらき能—「安達原」 ADACHIgaHARA

◆平成29年3月12日(日)午後2時開演(午後4時25分終演予定) ◆茨木クリエイトセンター・センターホール

◆[全席指定]一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年(24歳以下)1,000円

◆演目 ◎見どころ解説 ◎仕舞「笹之段」山本章弘 ◎お囃子解説 ◎狂言「茶壺」善竹隆司

◎能「安達原」山本章弘

【安達原あらすじ】

阿闍梨祐慶は、同行の山伏らと共に修行の旅を続けていました。陸奥に辿り着いた一行は、人里離れた安達原(現在の福島県安達太良山麓)で夕暮れを迎えてしまいます。安達原に一軒だけ見つかった年齢を重ねた女の一人住まいに、祐慶たちは一晩泊めてくれるよう頼みます。

家の中で祐慶は見慣れない道具を見つけ、女に尋ねます。すると、これは杵杵輪(わくかせわ)という道具で、自分のような賤しい身分の者が糸繰りに扱うのであると女は答え、また辛い浮き世の業から離れられない我が身を嘆き、しみじみ語ります。夜も更け、女は祐慶たちの寒さをしのぐために薪を取りに行くと告げ、留守中に決して自分の寝室を覗かないようにと念押しして出ていきます。ところが祐慶の従者のひとは我慢できず、祐慶に戒められながらも、とうとう女の部屋を覗いてしまいます。すると、そこにはおびただしい数の死骸が山のように積み重ねられているではありませんか。女は、安達原の黒塚に住むと噂にいう鬼だったのです…。

【見どころ】

この能は、「道成寺」「葵上」とともに三鬼女と呼ばれています。後半に着用する般若の面は、女の恨みや執心を具象化していますが、恐ろしいながらも、ただのおどろおどろしい妖怪変化ではなく、どこか人間の悲哀を残した深みのある表情が印象的です。皆様是非この般若の表情にもご注目ください。

また前半で人生の真理に到達したかのような女の、哲学的とささえいえるような語りは深い詩情を伴い、秋の物寂しい風情をも醸します。ところが、約束を破られ、決して見られなくなかった閨(ねや)を見られたことから、女が激しい憤りの鬼と化してしまふ。そのすさまじい変化が、寂しい陸奥の山麓という土地の雰囲気と結びついて、恐ろしさを増すのです。陰影の深さをじっくりと味わえる能といえるでしょう。

◆お申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(午前9時～午後5時)

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイトセンター1階

◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726

